

令和元年第2回（6月）瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

教育委員会では、平成27年に策定した瀬戸内市教育大綱の5つの重点施策を柱として、教育行政を推進していますが、その期間を令和2年度までとしていることから、これまでの取組による成果と課題を明確にして取り組むべき年と認識しています。

令和2年度に本格実施となる小学校の新学習指導要領による授業に使用する教科用図書採択に係る準備を行うとともに、外国語の教科化に対応した専科教員の充実を図りました。また、同様に始まる小学校でのプログラミング教育については、これを指導する教員の指導力向上に向けた研修の実施や指導法の研究を行うとともに、この学びに必要な機器や環境の整備、必要なアプリの導入についても研究を進めています。

また、近年増えつつある特別支援学級に対応した教育支援員、不登校傾向の子どもをサポートする登校支援員、教員の働き方改革を促進する業務アシスタント等の増員にも取り組んでいます。

どの子どもにとっても学ぶことの喜びが感じられ、求められる資質・能力を一人ひとりが身につけられるよう、学びの基本である授業の改善と、これを支える教育環境の改善を推進します。

以上を申し上げ、行政報告に移らせていただきます。

○ 学校教育の充実について

学習指導要領の改訂により、「特別の教科 道徳」が小中学校で教科となり、小学校における外国語が令和2年度に教科化されます。この動向を踏まえ、教育委員会では、「道徳の時間の充実」、「外国語教育の充実」及び「教育の情報化の推進」の3つの研究事業の実践校として、小学校3校、中学校1校を指定しました。研究事業の成果は、地域や校種を越えて市内全域で共有し、日々の授業実践の質を向上させるための研修を行います。これらは生徒指導、特別支援教育の充実と併せて、新しい時代に求められる資質・能力が子どもたちに育まれることを狙いとしています。

○ 学校施設整備について

行幸小学校校舎の大規模改造工事については、現在1期工事の実施設計を行っていますが、今後9月から12月までにかけて仮設校舎の設置を行い、3学期より校舎の改修工事を始められるよう、準備を進めています。また、牛窓東幼稚園園舎の大規模改造工事についても、同様のスケジュールにおいて実施するため、発注準備を行っているところです。

さらに、環境省の補助事業である「公共施設等先進的CO2排出削減対策モデル事業」を活用し、小学校5校へのエアコン整備を夏季休業期間中に行う予定としており、小中学校のエアコン整備は、今年度で完了します。

これらの工事の実施に際しては、各学校や事業者等との連絡調整を密にし、教育活動への影響を極力抑え、幼児児童生徒の安全に十分留意しながら進めていきます。

○ 図書館について

平成28年6月1日に開館した市民図書館もみわ広場は、3周年を迎えました。平成30年度の来場者は、18万6,961人、1日平均661人となっています。また、図書館全体での貸出冊数は、32万2,122冊、市民1人当たり、8.7冊となり、図書館の利用は、少しずつですが増えてきています。

これに加え、昨年10月から「岡山連携中枢都市・図書館相互利用」に参加し、岡山市など5市4町にも図書等の貸出しをしています。昨年の相互利用の貸出冊数は、4,827冊となりました。

また、市民図書館では、開館3周年を記念して、図書館友の会等の協力も得て6月1日、2日に「もみわ祭」を開催しました。このイベントでは、岡山駅前の再開発を手掛ける建築家である弥田^{やだとしお}俊男氏の講演や、参加者がお気に入りの本を紹介しあう「ビブリオバトル」などを実施しました。

開館4年目を迎えた今年度も、市民との協働による図書館として、友の会との共催事業を充実させるとともに、市民の皆さまの暮らしに寄り添ったサービスを展開していきたいと考えています。

○夢二のふるさと芸術交流プロジェクトについて

3年目でプロジェクト最終年度となる今年度は、第3回夢二コンクール及びプレミアムコンサート事業などを市の主催事業としてゆめトピア長船を中心に実施します。

夢二コンクールでは、日本歌曲の分野で著名な審査員を呼ぶことで声

楽部門の専門性を活かしながら、将来的に全国で有数のコンクールとなることを目指します。また、世界を舞台に活躍している演奏家たちによるプレミアムコンサートを開催し、夢二コンクールの周知を図りながら、クオリティの高い音楽に触れる貴重な機会を提供します。

夢二のふるさと芸術交流プロジェクト実行委員会は、中央公民館を拠点に市民企画や市民参加型のコンサート事業などを実施します。主催事業の一つである夢二ドライブマップ事業では、プロジェクトに関連する事業で来場された方が市内美術館や博物館に足を延ばして観光するなどの回遊性を考え、市内5施設の共通割引券を付けました。七夕の時期には、公民館登録グループの協力の下、ゆかたモデルを市民に一般募集する市民参加型として、夢二星空ゆかたファッションショーを開催します。

また、市民企画として夢二にちなんだ関連イベントも一般募集しており、市民とともにプロジェクトを盛り上げ、芸術文化による活力あるまちづくりを目指します。

○ 長船学校給食調理場の調理等業務委託について

長船学校給食調理場の調理・配送・洗浄業務については、8月から業務委託を行うこととしており、応募があった事業者について、プロポーザルによる審査を実施した上で、委託契約を締結し、2学期からの学校給食の提供に向けて準備を進めているところです。

○ 瀬戸内市立美術館について

美術館では6月22日から7月15日まで、『郷土が生んだ偉大な芸術

家 ^{ひがしはらほうせん}東原方僊展』を開催します。東原方僊氏は長船町福岡の生まれで、京都画壇の竹内 ^{たけうちせいほう}栖鳳氏に師事し、明治から昭和まで主に文展、帝展、新文展などで活躍した日本画家です。今回、市内所蔵家から作品約30点をお借りして展示します。

7月21日から8月12日まで、『アート瀬戸内動物園 開園！ ^{くやま}久山 ^{よしお}淑夫 立体・平面展』を開催します。久山淑夫氏は、強烈な形態の動物をモチーフとした作品で人気の木彫家です。今回、様々な動物の彫刻・ドローイングなどの作品約100点を集め、子どもたちの感性の向上に貢献する夏休み企画として展示します。

また、昨年度に引き続き、ワークショップやギャラリートークを行い、芸術文化に親しめる環境作りに努力していきます。

○ 備前長船刀剣博物館について

博物館では7月13日から9月8日まで『関の刀と備前刀（仮）展』の開催を予定しています。美濃国と備前国は、古くから全国屈指の日本刀生産地として名を馳せており、「東の美濃、西の備前」とも呼ばれ、日本刀の長い歴史の一端を担い、現在も日本刀の制作が連綿と続けられています。

今回の展示では、日本刀の長い歴史を持つ岐阜県関市を中心とした地域で作られた美濃の刀と、長船地域を中心とした地域で作られた備前の刀を対比する形で展示を行います。

さらに、秋の特別展として9月14日から10月27日まで本市が誇る日本刀の二大流派である『一文字派と長船派（仮）展』の開催を予定しています。

この地元刀工の作品が集まる特別展に合わせ、国宝の備前刀の中でも最高峰と評される「山鳥毛」の一時里帰りの実現に向け、現在、所有者、文化庁や岡山県等の関係機関と協議を進めています。このため、今議会に補正予算を計上していますのでよろしくお願いします。

地元刀工の作品が一堂に会するこの機会に、市内の子どもたちも含め、市民の皆さまに本市が世界に誇る日本刀文化を知っていただき、郷土の魅力発見につながるよう進めていきます。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

令和元年6月17日

瀬戸内市教育委員会

教育長 東南 信行